MSW通信 2023.7 月号

発行日 2023年(令和5年)7月31日

発行者 高知県医療ソーシャルワーカー協会

事務局 高知市本町4丁目1番37号丸ノ内ビル内 高知県社会福祉センター3F

FAX: 088-871-5100 (TEL 留守番電話対応のみ)

事務局 E-mail: kochi_msw2017@yahoo.co.jp(お問い合わせ・各種届)

MSW 通信部会 E-mail: kochimsw@yahoo.co.jp(MSW 通信への記事投稿)

URL:http://www.kochi-msw.com/

ご案内

●「協会年会費 □座振替のお礼・直接入金のお願い」

今年の第 1 回口座振替にご協力いただきありがとうございました。引き落としの有無につきましては、ご自身の通帳確認をお願いいたします。振替手続きしているにもかかわらず、何らかの都合にて引き落としが実行できなかった方には、8 月以降個別にて連絡させていただきます。

<u>また直接お振込み未納の方につきましては、急ぎご入金いただければ幸いです。</u> よろしくお願いいたします。

会費振込口座

•銀行•支店名:四国銀行 上町支店

• 口座名義 : 高知県医療ソーシャルワーカー協会会長中本雅彦

預金種別 :普 通

・口座番号 : 5110175

●「高知県災害派遣福祉支援チーム員募集」

高知県災害派遣福祉チーム(第4期)養成研修案内

もしもの時の「DWAT 隊員」として活動してみませんか?

大規模災害時に、一般避難所で高齢者、障害者、乳幼児その他特別な配慮を必要とする 災害時要配慮者を支援するため、「高知県災害派遣福祉チーム」が派遣されます。全国都 道府県に配置されています。派遣にあたっては、被災自治体からの要請に基づいて、高知 県が派遣を指示し、高知県社会福祉協議会が4~6名を1チームとして編成し、被災地へ 派遣します。活動期間は、1チームあたり7日間程度です。

○活動内容

- ①福祉避難所への誘導
- ②災害時要配慮者へのアセスメント(健康調査、ラウンド)
- ③日常生活上の支援
- ④相談支援(福祉(要配慮者)相談窓口、何でも相談)
- ⑤一般避難所内の環境整備
- ⑥本部や都道府県との連絡調整、状況等の報告
- ⑦後続チームへの引継ぎ
- ⑧被災市町村や避難所管理者との連携
- ⑨他職種との連携

⑩被災地域の社会福祉施設等との連携

く養成研修会>

日時:令和5年9月13日(水)9:30~16:30(9:00受付開始)場所 高知県立県民文化ホール第6多目的室(高知市本町4丁目3-30)

主 催 高知県 研修実施 社会福祉法人高知県社会福祉協議会

受講対象 以下の①と②のすべてにあてはまる者

- ① 社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員、保育士、看護師、相談支援専門員、医療ソーシャルワーカー、介護職員、生活相談員、生活支援員、地域包括支援センター職員で、業務経験が3年以上の者
- ② 所属する社会福祉施設・事業所等の長の承認を受け、施設・事業所等で構成される事業者団体・職能団体 に所属している者

受講料 無料

問い合わせ: 高知県 MSW 協会事務局へメールください。協会からの推薦、及び協会・職場からの派遣扱いとなります。

6月に新人研修を受講された皆様へ★☆四国ブロック新人集いの会 ご案内☆★

上記集いの会を令和5年9月3日(日)にZOOMにて開催予定です。(午前か午後は未定) 現在四国ブロック4県の理事で準備をすすめているところです。

今回初めての試みになります。

各県の新人さんを対象にオンラインで学び、交流できる場になればと考えています。新人さん同士横のつながりはもちろんですが、高知県から理事も数名参加しますので、縦のつながりも作ることができます。人脈作りもかねていかがでしょうか。

内容については詳細が決まり次第お知らせします。

今回は日程だけ先にお知らせします。みなさんぜひご参加検討ください。

報告

『理事会』

[日 時] 令和5年6月15日(木)19:00~20:45

【開催方法】オンライン(ZOOM ミーティング使用)

【参加者】理事:佐々木・高原・藤井・島田・島村・森田・市川・永田・中本・上村・北村

出席理事:11名 理事会成立

監事:山光 特別参加:前田(広報部長)

【議 題】

1, 部会活動報告(事業計画・報告 検討)

① 社会資源調査研究部会(森田理事):令和5年6月27日リモート開催

次回:令和5年7月24日部会開催リモート

社会資源部会便り

OA グループ(日高村)

OB グループ(四万十町、梼原町、中土佐町)

→次回の社会資源便りに掲載予定

部会見学:細木病院 澵井氏が見学参加。

- ② 生涯研修部会(藤井理事)令和5年6月21日ZOOMミーティング部会
- 〇新人研修(別途報告参照)
- ○基礎研修 4 講義中 1 講義を外部講師。「保健医療福祉をめぐる動向・諸制度の変遷」

講師:山崎まどか氏(日本 MSW 協会事務局)

高知大学がん相談対応関連研修事業と共催にて、講師謝金等、大学付属病院にて負担。

- ○全国協会研修担当者会議:令和5年7月8日15:30~17:00
- 〇四国ブロック研修担当者会議:令和5年8月7日(月)19:00~リモート
- ○講師登録に関するアンケートについて

③ 月例部会(山光監事)令和5年7月11日部会開催リモート

06月例会振り返り

日時:6/24(土)13:30~15:30(受付13:00~)

開催方法:ZOOM 内容:制度学習会

(高知県子ども・福祉政策部 福祉指導課、高知市福祉事務所・高知東年金事務所)

参加者:57名

資料:参加者へのメールに添付、協会ホームページへ掲載

アンケート: 6/30 締め切り

〇11 月例会の検討

日時:11月11日(土)時間 90分予定 開催方法:ZOOM

講師:門田美由希氏

内容:ヤングケアラーの実態について(仮)

謝礼金:内容や時間で検討していく

ポイント: 2P申請予定 〇1月例会について

日時:1月開催予定 開催方法:集合研修を検討

内容:スーパービジョン 上級編 講師(予定):高知県立大学 大熊氏

次回部会:令和5年8月未定

- ④ 会報部会(佐々木理事・中本理事)令和5年7月10日部会開催ハイブリッド
- ○第62号初稿の校閲作業
- ○7月末発行、8月上旬には会員及び関係機関へ発送

次回部会:7月26日事務所対面式にて最終校正

- ⑤ 財務部(佐々木理事・中本理事)
- 〇振替予定件数: 180件(正会員・賛助会員・過年度請求含む 令和5年7月27日引き落とし施行)
- ○各部会活動費用の支給について
- ⑥ 大会部会(島田理事)令和5年7月12日部会開催リモート
- 〇講師: 對馬 清美(つしま きよみ)氏

プロフィール:愛知医科大学病院総合相談室技師長 認定社会福祉士、精神保健福祉士、日本福祉大学修士日本協会身元保証チームのメンバー、数年前まで半田市社会福祉協議会にて地域の身寄り

のない人支援問題解決に向け町のネットワークづくりに尽力

- 〇開催日時:R6年3月3日(日)9:00~17:00
- 〇大会事前アンケート調査内容について検討
- Oプレ大会開催内容等の検討
- 〇開催場所(対面の場合):高知県人権啓発センター6階ホール
- 〇大会予算検討:会場費用、講師関連等
- ○大会テーマ(身寄りのない人支援を3カ年計画で取り組んでおり、本年度が集大成。マクロ領域。)
- 「身寄りのない人が安心して暮らせるまちづくりを目指して」は本年度も継続。

『身寄りのない人が安心して暮らせるまちづくりを目指して~〇〇〇〇〇〇〇~』

(令和4年度:『身寄りのない人が安心して暮らせるまちづくりを目指して~多職種・チームでの支援体制づくり~』)

- ⑦ 事務局(広報部会: MSW 通信・HP・LINE その他)
- ・HP 更新 計3回 研修・トピック情報
- ・ライン更新計3回 研修・トピック情報
- •通信発行 令和5年7月31日
- ★MSW 通信への記事投稿お待ちしています!

会員で共有したいことや全国のソーシャルワーカー仲間、関係者、国民にお伝え したいことがあれば先ずはご相談ください。

送付先は通信 yahoo アドレス kochimsw@yahoo.co.jp

2. 他団体関係機関からのお知らせ・案内・名義後援等

- 新潟県医療ソーシャルワーカー協会: 役員交代挨拶状
- NPO 大阪医療ソーシャルワーカー協会:研修案内×9本
- 広島県医療ソーシャルワーカー協会: 役員交代挨拶状
- 第62回高知県精神保健福祉大会:名義後援 令和5年11月15日(水)13:00~16:10高知県民文化ホール
- ・東京都医療ソーシャルワーカー協会:広報誌「東京 MSW」
- ・静岡県医療ソーシャルワーカー協会:静岡県ソーシャルワーク関係団体連絡協議会主催 2023 年度ソーシャルワーカーデー普及啓発イベント案内
- 高知県健康政策部在宅療養推進課:「本人の意向を尊重した意思決定のための相談員研修会」案内
- ・高知県災害福祉支援ネットワーク会議:第7回会議案内:令和5年9月8日(金)14:00~16:00 高知会館 小柴理事参加予定、第4期高知県災害派遣福祉チーム員養成研修会案内:令和5年9月13日 (水)9:30~16:30 県民文化ホール第6多目的室(職場の理解の下、協会推薦参加)
- 第18回いきいき100歳大交流会:名義後援
- ・第50回酒害サマースクール開催中止通知
- オーテピア:広報誌「コトノハ」
- 一般社団法人神奈川県医療ソーシャルワーカー協会: 役員交代挨拶状
- 一般社団法人石川県医療ソーシャルワーカー協会:50 周年記念誌
- 高知市社会福祉協議会:会員末村氏より研修会開催企画のお誘い 例、身元保証問題と任意後見制度、成年後見制度の実践活用、権利擁護の中核機関としての活動紹介等

3、協会代表者派遣

- ・「災害時のメンタルヘルスケア」研修会:令和5年6月19日(木)19:30~21:00 北村理事、中本会長 ZOOM 主催:大阪府大規模災害リハビリテーション支援研究会 JRAT 関連
- 高知市高齢者保健福祉計画推進協議会:令和5年7月12日18:30~20:30 高知あんしんセンター3階 中本会長(当協議会副会長就任)
- 令和 5 年度都道府県研修担当者会議(1 回目):令和 5 年 7 月 7 日(永田理事)、7 月 8 日(藤井理事) **7**OOM
- ・全国医療ソーシャルワーカー協会会長会:令和5年6月18日(日)12:20~13:20ハイブリッド 開催 東京有明会場 高原副会長参加(リモート)、中本会長挨拶のみ(会場)
- ・高知県障害福祉課より依存症者支援に関する委員会発足協力依頼 電話で相談あり➡藤井理事が担当

4、令和5年度高知県医療ソーシャルワーカー協会 新人研修

【参加者】10名(うち1名は高知県精神保健福祉士協会より参加)

【日 時】 令和5年7月2日(土) 14:00~ ZOOMにて

【内容】①あのころ私は若かった(先輩の体験談)

田村歌穂氏 (近森病院)

玉木佐知氏 (高知病院)

上田英里奈氏(同仁病院)

②講義

- 1)『組織とソーシャルワーク』山本真里氏(南国病院)
- 2)『自己覚知』山本三千子氏(元高知県医療ソーシャルワーカー協会会長)

≪感想 参加された方のレポートより抜粋≫

●近森病院 實松美咲

医療機関でソーシャルワーカーとして入職してから 3 か月が経ち、少しずつできることが増えてきたように感じる。今の業務としては、電話や窓口での用件確認、更生医療などの制度説明を主に行っている。電話対応では、内容を聞き取ることができるようになってきたけれど、聞き取った内容の要点がわからないことや、聞きなれない言葉や始めて耳にする言葉も多く戸惑うことも多い。制度説明では、相手に合わせた説明を目標にしているけれど、制度について説明することに必死になってしまい、相手に合わせた説明はできておらず、自分には向いていないのかもしれないと思うこともある。今回、先輩 SW の『あの頃私は若かった』の発表を聞き、今自分が感じている思いや不安は、先輩 SW も通ってきた道であることやその時どうしていたかを発表から教わったことで、安心したと同時に、自分も1年目の自分を振り返った時に頑張って良かったと思えるように、今できることを1つひとつ丁寧に一生懸命取り組んで行きたいという思いが強くなった。

先輩方の患者さんやご家族との関わり方、多職種との連携の仕方、支援のスタイルを学び吸収しながら、自 分自身も自分に合った支援のスタイルも身に着けていけるようより経験を積んでいきたいと思う。1 年後自 分の理想とする医療ソーシャルワーカー像になれるよう、再度自己覚知や自分の仕事のやり方を見直し、スキ ルアップに努めたい。しかし、これから経験を積んでいくことによって専門職の考え方に偏ってしまうことが あると思う。それは、今新人だからこそ持っている患者さんやご家族の気持ちへの理解といったような初心を 忘れず、患者さん、ご家族に寄り添った支援をしていけるようにしたい。今回の新人研修を通して、たくさん の先輩方も多くの壁を乗り越え仕事をしてきたと知り、自分自身も今悩みは多くあるが自分の経験として今 後活かしていけるよう、より頑張るモチベーションに繋がった。

●細木病院 山崎 真凜

今よりも視野を広げ、先輩方のようにどのような場面でも臨機応変に対応できる力と知識を身に付け、患者さんやご家族の気持ちに寄り添い、患者さんやご家族が入院中や退院後に安心して生活できるように支援できる医療ソーシャルワーカーを目指していきたいと思います。さらに、医療ソーシャルワーカーの役割や専門性を理解し、何でも引き受けるのではなく、できないことはできないとはっきりと言える医療ソーシャルワーカーになりたいと思います。医療ソーシャルワーカーとして自分は何をしなければならないのかを理解し、患者さんやご家族だけでなく、多職種からも信頼される医療ソーシャルワーカーになれるように、多くの事例に触れ、経験を通して学びを深めていきたいです。

5、第71回公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会全国大会第43回日本医療社会事業学会 TOKYO2O23

【テーマ】「社会変動の中の医療ソーシャルワーカー」 ~支援者としてかけがえのない存在であり続けるために~

【日 時】令和5年6月17日(土)~6月18日(日)

【会 場】東京有明 TFT ホール

《報告》

介護老人保健施仁淀清流苑 中本典子

コロナ禍4年ぶりの参加で、「ハイブリット式」という新しい参加形態、オンデマンドで現地開催前後にも 聴講可能と、まさに「社会変動の中」での新しい形を実感した大会であった。初日のシンポジウムでは「プラ イマリケア医とソーシャルワーカーとの連携から広がる地域実践」というテーマのもと冒頭には、医療は生活 モデルに重心が移ってきているとあり、医師、ソーシャルワーカーからの報告があった。

プライマリケア医の「専門家が地域に出ていくことで、(個人の)せっかく持っている力をつぶしてしまわないようなさじ加減が大切」という言葉に、ソーシャルワークの基本を感じた。

また「ソーシャルワーカー同士の申し送りは、うわべだけにならず意図することを引きつげる」と言われたことで、ソーシャルワーカーの強みを再認識することとなった。

教育講演の二木立氏は大学時代以来 30 年以上ぶりの辛口の講義は懐かしいものであった。「患者を見ず地域と切り離した退院支援は 単なる患者追い出しであるし、バーンアウトにもつながる」という言葉に日々自分の行っている退所支援を振り返るものとなった。

さらに、「マッチングのソーシャルワークをしていると AI に代替されるのではないか?マニュアル的・機械的な仕事をしていると機械に置き換えられる。結局は人間関係・信頼関係の仕事である」という厳しくも熱い話は印象的であった。

「身寄りのない人支援」に関してはシンポジウムとつどいを連続して参加し、より深めることができた。つどいでのグループ分けは、会場にいる 100 名以上の参加者を近くに着席した者同士で即席に作った斬新なものであった。私のグループでは都心部のソーシャルワーカーが多かったが、都市部でも高知でも退院支援、在宅調整に抱える悩みは変わらないことを実感した。基調講演・シンポジウム・つどい等々盛りだくさんの内容で刺激を受けた。















MSW 全国大会学会、ハイブリッド形式にて開催されましたが、実に多くの会員が全国から集いました。万全な感染対策の下、講演・ワークショップ・シンポジウム・分科会・交流会等々、2日間を通して約800名の参加がありました。リモート参加者を加えると1,500名近くの参加者で大盛況でした。来年2024年は大分県で開催されます。未だ参加したことのない会員は是非とも来年大分へ。協会からの旅費補助制度もありますよ。

次回理事会: R5年9月14日(木)19:00~ リモート ZOOM ミーティング

編集後記

最近、患者さんと面接をする中で、何気なく見て得た知識が話のきっかけになることが多々ありました。たまたま YouTube で見た大工さんの動画について、大工仕事をしている患者さんと「そうそう!よう知っちゅうね!あの作業が大変ながよ~」と話したり、なんとなく気になって調べた植物の育て方が、畑作業が好きな患者さんとの話で繋がったり。時には競馬の馬の名前で盛り上がったり。そういった何気ない知識が、生活の様子を想像したり、共感したり、患者さんの思いや考え、人生観に触れるきっかけになることもあると思います。日常生活の中でもアンテナを張り、知識を吸収する柔軟さを持ち続けたいです。

高知県医療ソーシャルワーカー協会会員限定 LINE!

高知県医療ソーシャルワーカー協会 広報用LINEアカウント

「MSW通信web」への登録のお願い

会員の皆様

このたび、協会の情報発信の効率化、 迅速化を図るために、LINEアプリにて協会の 情報発信を行なうこととなりました。

会員の役に立つ様々な情報を日々配信 していきますので、ぜひ以下のQRコード から登録をお願い致します。

設定方法などご不明の点があれば、協会 広報部会までお問い合わせください。

問い合わせ先)広報部会 高知大学医学部附属病院 地域医療連携室 前田/高原 088-880-2701





